2021 年 2 月 3 日
川崎汽船株式会社

サステナビリティ経営強化に向けて新たな部署を設立

当社はサステナビリティ（＊）に重点を置いた経営を強化するため、2021 年 4 月 1 日付でサステナビリティ推進を担う部署および温室効果ガス（GHG）削減戦略を推進する部署を設立します。
（＊）サステナビリティ ： 環境・社会・経済が将来にわたって持続できるようにする考え方。

当社は創業以来、海運を中核とする物流企業として国際的な社会インフラを担ってきました。人々の生活や経済を支えるライフラインとしての使命を果たすには、経営にサステナビリティを重視する視点が欠かせません。サステナビリティ経営を推進し、説明責任を含めたステークホルダーとのコミュニケーションを促進するため、「サステナビリティ推進・IR・広報グループ」を立ち上げます。

また GHG 排出の削減は、人類共通の大きな環境課題であるとともに、当社のサステナビリティ推進において重要な位置付けにあります。この課題認識から、低炭素燃料への転換を中心とする GHG 削減戦略を立案・実行する部署として「GHG 削減戦略グループ」を新設し、GHG 削減を推進することで、「環境ビジョン 2050」で掲げた目標の達成を図ってまいります。

新組織の概要は以下の通りです。

① サステナビリティ推進・IR・広報グループ（略称：SICG）
従来の CSR・IR・広報機能を統合して立ち上げ、サステナビリティ経営の推進主体として、社内外のステークホルダーとのコミュニケーションを促進します。

② GHG 削減戦略グループ（略称：GRSG）
GHG 削減を中心とした次世代環境船舶戦略を技術面で統括。アンモニア、水素といった新燃料対応、電気推進（EV）、CCS（二酸化炭素回収・貯留）、やメタネーションといった GHG 削減技術の研究・実現に取り組むとともに、実用段階にある LNG 燃料船の導入を推進します。
当社の GHG 削減の取り組みは添付資料をご参照ください。

川崎汽船グループは、事業活動を通じて環境保全を図りつつ、経済・社会の持続的な発展に貢献し、企業価値の向上に努めてまいります。

以上

（添付） 川崎汽船の GHG 削減の取り組み

# 川崎汽船のGHG削減取り組み

## 1.「環境ビジョン2050」

- 当社は2015年、業界に先駆けて「環境ビジョン2050」を策定し、環境対応推進の道標としてきました。
- 2020年にはこれを改訂し、新たな2030年中期マイルストーンと2050年のゴール、さらにその先の「ゼロ・エミッション」の世界の実現に向けた 2030年までのアクション・プランを設定し、GHG排出削減に取り組んでいます。

「"K"LINE 環境ビジョン2050 ～青い海を明日へつなぐ」

2020年6月 「"K"LINE 環境ビジョン2050」を改訂

～2030年度 **$CO_2$排出効率を50%改善**
IMO(国際海事機関)の"40%改善"を超える目標を設定（2008年比）

～2050年度 **GHG排出総量を半減**
$CO_2$排出効率を2008年比70%改善

# 川崎汽船のGHG削減取り組み

## 2. 進捗中の主な取り組み

### ◆ 風力を利用した自動カイトシステム “Seawing”の導入

関連リリース

・ 自動カイトを大型ドライバルク船に設置、1隻あたり20%以上、年間5,200トンのCO2削減を見込む。
・ 2021年度以降に実装予定。船舶統合システムK-IMSから得る運航・性能データを活用した性能向上も計画。

©川崎重工業株式会社

### ◆ LNG燃料供給事業の推進

関連リリース① ②

・日本初のLNG燃料供給船「かぐや」が伊勢湾で竣工、事業を開始(2020年10月)。
・シンガポール初のLNG燃料供給船の船舶管理契約をFueLNG社と締結。今春稼働予定。

### ◆ LNG燃料焚き自動車船の導入

関連リリース

・従来の重油燃料よりCO2排出を25～30%抑えられるLNG燃料の自動車船が今春竣工予定。
・環境省および国土交通省の連携事業である「代替燃料活用による船舶からのCO2排出削減対策モデル事業」の支援を得て、今治造船株式会社で建造中。

©川崎重工業株式会社

### ◆ 国際水素サプライチェーン構築の実証事業に参画

関連リリース

・豪州で未利用褐炭から製造されたCO2フリー水素を液化し、日本へ輸送するHySTRA（技術研究組合CO2フリー水素サプライチェーン推進機構）に参画し、液化水素運搬船の運航支援を行う。

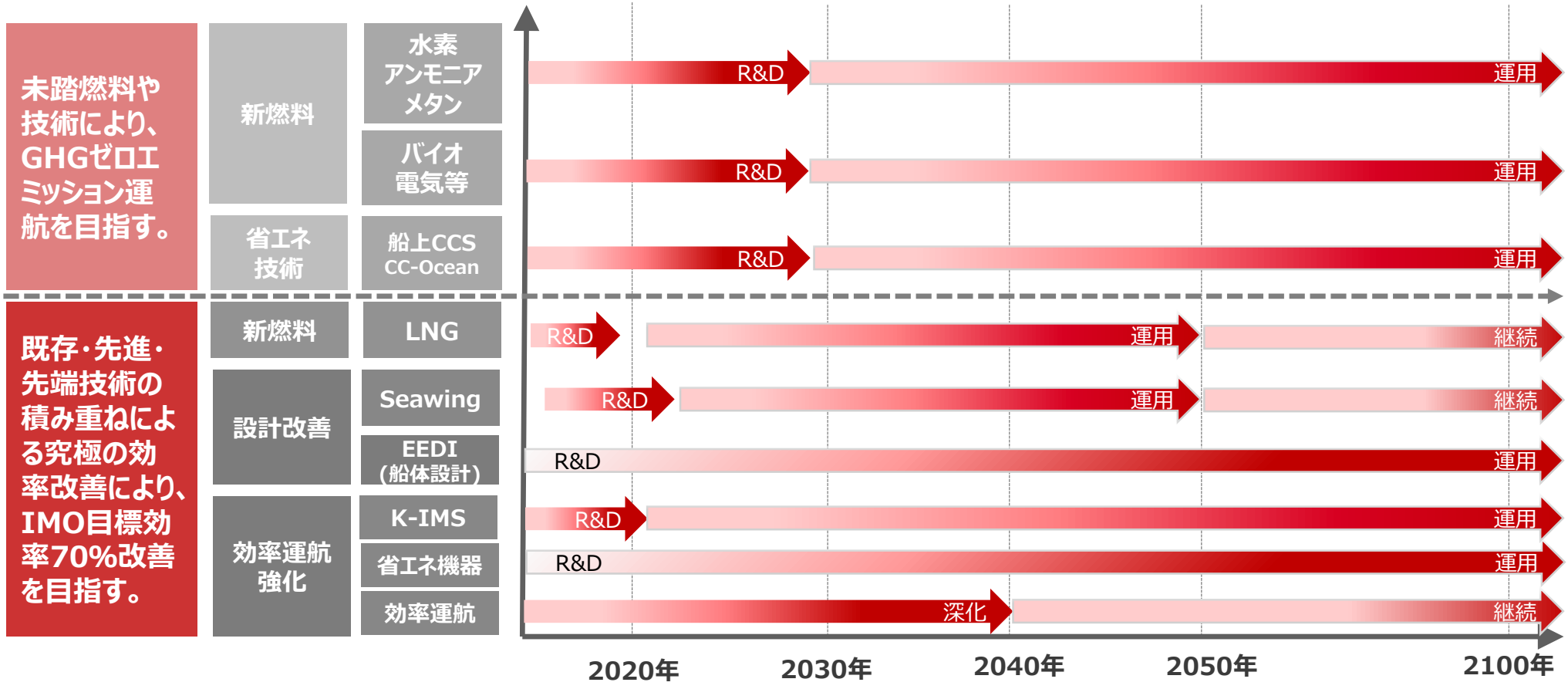
### ◆ 世界初、船上でのCO2回収試験を計画 “CC-Ocean” プロジェクト

関連リリース

・三菱造船(株)、(一財)日本海事協会と共同で、「洋上におけるCO2回収装置検証のための小型デモプラント試験搭載と装置コンパクト化の研究開発」を実施。

# 川崎汽船のGHG削減取り組み

## 3. ロードマップ




## 4. 外部からの評価や協働

- CO2削減目標がSBT（企業版2℃目標）の認証を取得（2015年）
- CDP「気候変動Aリスト」企業に認定～最高ランクのA評価を5年連続で獲得～
- TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同を表明（2018年）
- 「Getting to Zero Coalition」、「International Wind Ship Association」、経団連「チャレンジ・ゼロ」などに参加
- ESG投資指標の構成銘柄に選定：
  “FTSE4Good Index Series” (18年連続)、”FTSE Blossom Japan Index” (4年連続)、”Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index” (10年連続)

CDP A LIST 2020 CLIMATE

Member of Dow Jones Sustainability Indices Powered by the S&P Global CSA